

迎えて



津島市長
伊藤 文郎

新年、おめでとつございます。
私は、平成19年に市長就任以来、全力で市政を担ってまいりました。

就任当時の津島市は、市民病院の機能が低下し、経営状態が傾き、市全体の財政を大きく圧迫していました。市の最大の課題は、「市民病院の機能強化と健全経営の確立」でした。

市民病院を核とした地域医療を守る取組に、名古屋大学を始め、県医師会、地域医師会、愛知県などの関係機関からお力添えをいただき、医療崩壊の一手手前まで何とか踏みとどまることができました。

市民病院は、救急体制を建て直し、医師、看護師を大幅に増員し、全診療科で、診療体制を整え、昨年7月には、440床を全稼働できるまでに機能強化できました。

平成21年4月には、厚生労働大臣の諮問機関である中央社会保険医療協議会の委員を拝命しました。国民健康保険の保険者を代表する委員として、地域医療の現状について全国に発信しています。現在は、平成26年4月からの診療報酬改定に向けて、国全体の将来あるべき医療政策を考慮しながら議論しています。

平成23年度から、「第4次津島市総合計画」を開始し、翌年には、「市民協働部」を新設しました。コミュニティを核に、市民の皆様と市と一緒に考え、行動し、課題を



津島市議会議長
後藤 敏夫

新年あけましておめでとつございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げますとともに、日頃より、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昔から「一年の計は元旦にあり」と言われるように、新年は、人心を一新する契機となつてこそ意義あるものと言え、将来を考え、新しい年の計画を立て、新しい希望への出発点となることを期待するものです。

さて、日本は今、少子高齢化が進み、65歳以上の高齢者人口が3千万人を超え、4人に1人が65歳以上となる高齢化と人口減少が社会問題となつており、今後の生活を支える医療・福祉が重要となつてまいります。また、東日本大震災から2年9カ月が経過し、災害への備えに大きな関心が寄せられている今、その対策が急務となっております。

こうした中、市では、昨年から入院・通院に次ぐ第3の医療とされる「在



愛知県知事
大村 秀章

あけましておめでとつございます。県民の皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、円高是正、デフレ脱却に向けた政策が進められ、景気が緩やかに回復に向かうなど、ようやく明るい兆しが見えた年でした。このような中で日本一の産業県、愛知が我が国の産業経済を牽引していくという決意のもと、産業競争力の強化に全力で取り組んでまいりました。

今年、こうした取組を一層発展させ、愛知の活力と豊かさを更に高めていくとともに、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催や、2027年のリニア中央新幹線の開業を視野に入れた地域づくりをしっかりと進めてまいります。

このため、産業空洞化対策減税基金による日本一の補助制度を活用した企業立地や研究開発に対する支援、航空宇宙や次世代自動車を始めとした次世代産業の育成・振興、民間の力を引き出す規制改革の実現など、産業力の革新的強化に全力で取り組ん



愛知県議会議員
中野 治美

新年あけましておめでとつございます。

皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、富士山が世界文化遺産に登録され、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定しました。未来を担う子供たちにとって、東京オリンピックの開催は夢と希望を創り出していつてくれるものであり、世界へ目を向ける良い機会となることと思います。

南海トラフ巨大地震が危惧される今、海抜ゼロメートル地帯に住む私たちにとって、安心・安全は大きな課題です。東日本大震災は、地域防災計画を見直す大きな転機となりました。日光川水門の改築、日光川防災ステーションの建設、日光川右岸防災道路の整備等、災害に強い街づくりをしっかりと進めてまいります。

少子高齢化が進む今、地域で支え合いながら安心して子育てができるよう、子育てにあたたかい愛知をめざし、

新 春 を



解決する「協働のまちづくり」を進めています。

平成24年度には、厚生労働省のモデル事業として、「在宅医療連携拠点事業」に取り組まれました。保健・医療・福祉・介護の4分野が連携する事業です。「住み慣れた地域で安心して暮らす」ことができるように、医・歯・薬・介などの多職種が連携し、さらに、コミュニティや市が協働して、絆を強固なものとしようとしています。

また、大規模地震に備え、国内屈指の専門家、福和伸夫名古屋大学教授を含む有識者の方々に助言をいただきながら、防災・減災対策に努めています。市は、市民の皆様と協働し、「安心・安全・安定のまちづくり」を推進しています。

教育面では、確かな学力、豊かな人間性、健康でより良く生きる力を育てることを目指し、市独自の教育カリキュラム、「豊かな心を育む事業」などを実施しています。

市では、社会資本の多くが老朽化し、更新時期を迎えています。小中学校校舎等の耐震化をすでに完了し、通学路、橋梁などの整備、長寿化を進めています。上水道管の整備についても、国の予算を確保できましたので、本年以降、順次進めてまいります。市は、公の施設の見直しを含め、「身の丈にあったまちづくり」を着実に進めています。

今後も市政運営にご協力を賜り、本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年となりますよう祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

平成二十六年元旦

宅医療」のモデル事業に取り組み、できる限り自宅で過ごしたいという人や家族の支援に取り組んでいます。

また、南海トラフ巨大地震等に備え、市役所本庁舎の機能が防災拠点として維持できるよう、昨年10月から耐震補強工事が進められており、平成27年度末の完成を目指しているほか、今後ライフライン等の整備も順次進められてまいります。

市議会といたしましても、市民の皆様様の安心・安全な暮らしにつながるよう、市民の皆様の声に耳を傾け、取り組んでいく所存であります。

私たち議員一同、津島市民の代表として、その役割と責任の重さを自覚し、決意も新たに、安心・安全で思いやりのある津島市の実現に向けて取り組み、より豊かで魅力あるまちづくりを全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が市民の皆様方にとって、実り多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

平成二十六年元旦

でまいります。

また、元氣な愛知の基盤となる人づくりとして、愛知の産業を支える人づくり人材の育成、世界を舞台に活躍するグローバル人材の育成などに取り組んでまいります。

さらに、利便性の高い交通体系の形成や、農業の高付加価値化、観光魅力のPR強化などにより、愛知の総合力を一段と高めてまいります。そして、女性の活躍推進・子育て支援や、障害者・高齢者福祉を始めとした福祉・医療の充実、交通安全、地震防災対策の強化はもとより、学術、スポーツ、文化芸術面の魅力向上に取り組む、住みやすく、住んでいて楽しい地域づくりにも力を注いでまいります。

また今年秋には、「ESDに関するユネスコ世界会議」、「技能五輪全国大会・全国アピリンピック」が開催されます。地域が一丸となって成功に導き、愛知の魅力を全国・世界に向けて発信してまいります。

これらの取組を通じて、「日本一元氣な愛知」と豊かさを実感できる県民生活の実現を目指してまいります。と考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十六年元旦

子育て環境の整備、子育て支援をしてまいります。介護が必要な方にも障がいのある方にも、安心して暮らせるやさしい街づくりを進めてまいります。

現在、国と地方が取り組むべき課題は山積し、県や市の責任はこれまで以上に重くなっております。皆様の声に耳を傾け、地域の特性を十分生かしながら、常に変化する情勢や課題に柔軟に対応し、活力のある愛知・津島を皆様とともにつくってまいります。一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

平成二十六年元旦

